

2025年8月1日  
株式会社岩手銀行

### 新システム導入による自治体 DX 支援 ～標準フォーマットデータの提供を開始～

岩手銀行（頭取 岩山 徹）は、新たに「統合税公金システム」を導入のうえ、税公金等の収納データを標準フォーマットで作成し、自治体向けに提供するサービスを開始しましたので、お知らせいたします。

当行は、多くの岩手県内自治体の指定金融機関を担い、県内に本店を置く金融機関で唯一、公金業務の専門部署を備えております。今後は、本仕組みを広く県内自治体へ提供することで、公金業務の効率化など自治体 DX（デジタルトランスフォーメーション）を支援してまいります。

記

#### 1. システム導入・データ提供による効果

##### (1) 当行内での公金業務の効率化・集中化

- ①これまで、当行の本支店でお客さまから収納した納付書は、本部に集約し、受託部門、税公金部門など複数の部門・システムに分かれて事務作業を行っていました。
- ②今般、新しい統合税公金システムを導入することで、この各業務をひとつのシステムで対応することが可能となり、公金業務の効率化・集中化を実現しました。

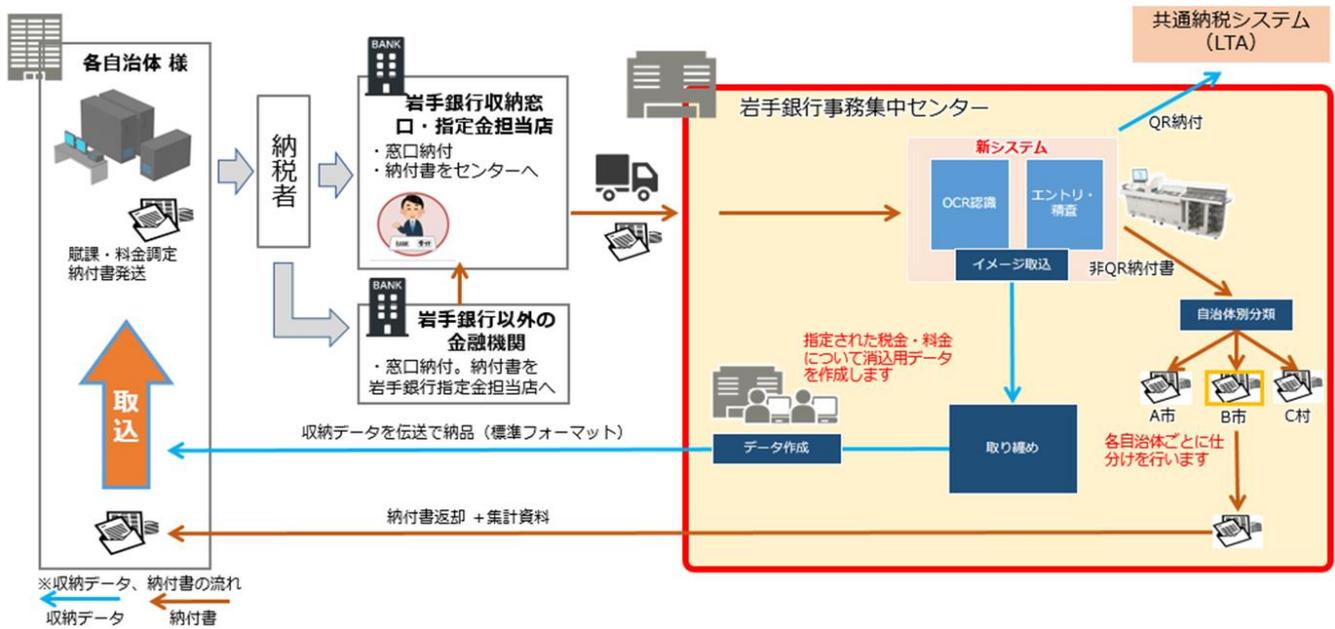
##### (2) 自治体での収納業務の効率化

- ①自治体は収納データの提供ニーズが高いことから、本システムでデータの作成から各自治体への伝送までを提供するプラットフォームを構築しました。
- ②当行が作成したデータを自治体のシステムで一括取得することで、収納業務の効率化が実現します。

#### 【統合税公金システムのイメージ図】



【収納データ提供のイメージ図】



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

地域貢献部 公務室 電話：019-623-1111